

第3回 第2次江別市観光振興計画策定委員会 会議録概要

日 時	令和5年10月31日（火）15時00分から17時00分
場 所	江別市民会館 31号室
出席者（8）名	委員長 / 藤本直樹 副委員長 / 北川裕治 委 員 / 内藤幸樹、山崎啓太郎、畠山真理、成田裕之、岡村恵子、奥平啓太
欠席者（0）名	-
傍聴者（1）名	
事務局（4）名	経済部長、経済部次長、観光振興課長、観光振興課主査
オブザーバー（2）名	第2次江別市観光振興計画策定支援業務受託業者
議 題	協議事項：第2次江別市観光振興計画素案について
会議録	
事務局	開会のことば
委員長	第2次江別市観光振興計画の策定スケジュールについて、事務局より説明願う。
事務局	<事務局よりスケジュールおよび進捗等に関する報告>
委員長	第2次江別市観光振興計画の策定スケジュールについて、質問・確認事項はあるか。
委員一同	なし。
協議事項：第2次江別市観光振興計画素案について	
① 第2次江別市観光振興計画素案 第1章～第3章について	
事務局	<事務局より第1章～第3章について説明>
●コロナ禍後の旅行ニーズに関して	
委員長	第1章から第3章までの内容に関して畠山委員は意見・感想等はあるか。
畠山委員	3ページ目のコロナ禍後の旅行ニーズに関して、資料の傾向を参考に計画を練っていくべきなのか。
委員長	新計画を策定する際、コロナ禍のニーズを前提とした検討が必要かどうかという質問の理解であっているか。
畠山委員	コロナ禍の影響で劇的に状況が変化の中で、この傾向を意識する必要があるかどうか、という疑問である。

委員長	私は正直なところこの記述は重視をしていなかったが、あえて項目を立てる必要があるのか、事務局から掲載意図に関して説明をいただけるか。
事務局	今後の取組に向けてベースとして記述をしている。その意味で、全く触れないのも違和感があり、記述を残して良いのではないかと。一方で、次期計画の取組案ではコロナ禍の傾向を強く意識はしていないため、あくまでも市場の現状として記述している。
委員長	コロナ禍後の旅行ニーズに関して、内藤委員はどう扱うべきか意見はあるか。
内藤委員	他の観光振興計画に関する資料を見ても、コロナ禍後の旅行ニーズに関する記述はあるので、本計画でもあっても良い。
委員長	北川副委員長はいかがか。
副委員長	ベースの記述としてあっても良いのではないかと。
委員長	奥平委員はいかがか。
奥平委員	5年後に新しい計画を作る際に、コロナ禍の影響の視点を残すという意味であっても良いのではないかと。
委員長	多くの委員が、江別市外の状況としては全国的な観光動向を踏まえて現況の資料としてあっても良いという意見だが、畠山委員はその扱いで良いか。
畠山委員	現況という扱いで記述があっても良い。
委員長	他に意見はあるか。
事務局	現況という意味では2022年調査なので、少し古い資料となっている。そのため、まとめの文章として、例えば「傾向がある。」ではなく「傾向がありました。」と記述すべきであると認識しているので、記述の一部修正を検討する。
委員長	一同異論がないと理解した。記述に関して微修正は事務局にお願いしたい。
● 画像の貼り付け図に関して	
委員長	第1章から第3章までの内容に関して成田委員は意見・感想等はあるか。
成田委員	中身に関してはないが、3ページ目や9ページ目の資料が画像で貼り付けてあるので、粗くて見にくい。製本する際には見やすいように修正が必要ではないか。
委員長	9ページ目の資料に関しては以前、私からも見にくいために修正を依頼し、修正済みだと認識したが、プリンターの解像度の問題ではないか。3ページ目に関しては、画像データではなく打ち直すことは可能か。
事務局	承知した。そのように修正する。
② 第2次江別市観光振興計画素案 第4章について	
事務局	<事務局より第4章について説明>

●観光像候補に関して	
委員長	新しい観光像は、前回の委員会の際の「すこし長い。」「なかなか覚えられない。」という意見を汲み、コピーライターに委託し練り直したものである。別紙4案の中から、「訪れるたび近くなるまち、江別」を事務局として採用したいという意見だが、観光像に関して奥平委員は意見・感想等はあるか。
奥平委員	近さという言葉に、物理的な距離だけでなく心の距離を含めているところが非常に良いのではないか。
委員長	岡村委員はいかがか。
岡村委員	現計画の長い観光像の文章を要約した点が明確に記述されており、良いのではないか。
委員長	北川副委員長はいかがか。
副委員長	江別は1回だけではなく、近い場所、何度も訪れることができるまちだと思うので、この案に同意である。
委員長	畠山委員はいかがか。
畠山委員	「訪れるたび」という一文に、何度も来てほしいという意味が含まれており良いのではないか。また、先ほど奥平委員が述べたように、心理的な距離も近くなる意味合いも含まれており、非常に良いのではないか。
委員長	内藤委員はいかがか。
内藤委員	江別市は見どころが点在しているので、このキャッチフレーズはとても良いのではないか。
委員長	一同、観光像については異論がないことを理解した。
●第4章の記述内容に関して	
委員長	記述している内容に違和感はないが、個人的にはコンパクトにまとまりすぎている印象を受けた。第4章をもっと手厚くしてもよいのではないか。例えば12ページ目の上半分は枠で整理し箇条書きされているが、この部分を文章で手厚くし12ページ目と13ページ目を3ページ分にして記述してもよいのではないか。山崎委員はいかがか。
山崎委員	確認だが、今回の手元の資料が最終的に公表されるものになるのか。
事務局	表紙、目次、参考資料以外は変更しない予定である。
山崎委員	藤本委員長ご提案のように、12ページ目の記述内容は、前半と後半でページを分けたほうが良いのではないか。
委員長	成田委員はいかがか。
成田委員	江別がどのようなまちか、観光の概要を記載するのが良いのではないか。江別を知らないで計画を読む人でも分かるように記述するのも良いのではないか。
委員長	成田委員としてはこのままで悪くはないが、もう少し補足があっても良いというお考えと理解した。奥平委員はいかがか。

奥平委員	このままでも良いが、詳細な記述があっても良いのではないかと。加えて、キャッチフレーズを4章だけではなく、最初のページに持ってきても良いのではないかと。
委員長	4章にもう少し詳細な記述があっても良いことと、キャッチフレーズをつかみとして、例えば表紙などに記述するのが良いという二つの意見だと理解した。表紙やタイトル等の検討の余地はある。一方で、第4章の記述に関してはパブリックコメントまでの期日は短いと、より詳細な記述が必要だと個人的に認識しているが、畠山委員はいかがかと。
畠山委員	フォントの大きさ等見せ方は検討の余地があるのではないかと。これからの取組の戦略の目指す姿として、計画のメインといっても過言ではないので、もし可能であれば修正したほうが良いのではないかと。奥平委員のキャッチフレーズを前に持っていくことも、手間がかからないのであれば修正いただくのが良いのではないかと。
委員長	事務局として修正は可能かと。
事務局	成田委員の意見は具体的にはどのような記述が必要ということかと。
成田委員	内容を手厚くするのならば、例えば「小麦が有名」、「レンガが有名」等、基本的な江別市の観光概要を記述するのはどうか。江別を知らない人が分かるような内容を記述したほうが良いのではないかと。
委員長	岡村委員はいかがかと。
岡村委員	もし文章が難しいのならば、イベント風景等の写真を掲載するのが良いのではないかと。
事務局	承知した。文章の流れもあるので、うまく江別市の強み等を文章や写真などで埋められれば良い。必ずとは約束できないが、検討はさせていただきます。
成田委員	写真に関して、今月フォトコンテストが終わったところなので、その中の一部の写真を採用するのが良いのではないかと。
委員長	必ずしもフォトコンテストの写真からピックアップできるか分からないが、事務局に写真を提供することは可能かと。
成田委員	可能である。
③ 第2次江別市観光振興計画素案 第5章について	
事務局	<事務局より第5章について説明>
●「教育」の記述に関して	
委員長	前回委員会で奥平委員から、「教育」についての要素を取組に記述してほしいと意見をいただいたが、修正された5章の内容でよろしいかと。
奥平委員	この内容で問題ない。
●「インバウンド」の記述に関して	
委員長	前回委員会で成田委員から、「インバウンド」についての要素を取組に記述してほしいと意見をいただいたが、修正された5章の内容でよろしいかと。
成田委員	この内容で問題ない。

●「有償ガイド」の記述に関して	
委員長	前回委員会で岡村委員から、「有償ガイド」についての要素を取組に記述してほしいと意見をいただいたが、修正された5章の内容でよろしいか。
岡村委員	この内容で問題ない。
●「二次交通」の記述に関して	
委員長	前回委員会で、「二次交通」に関する取組をもう少し厚くできないかと提案させていただいたが、修正していただいた5章の内容で問題ない。
●専門用語に関して	
奥平委員	言葉の選択が難しいところが散見される。例えば、「ウォーカビリティ」、「ハンズオンアクティビティ」、「コンシェルジュ」等もう少しかみ砕いて表現するのが良いのではないか。
委員長	事務局としては、最後に用語集を記載する等の対応は考えていないか。
事務局	現在は用語集を別に設けることは考えていないが、観光に関わる人には馴染があっても、一般の人には分からない言葉も確かにあると思うので、もう一度見直しをしたい。もしくは米印等で注釈を入れることを考えている。
委員長	レイアウト上、いくつも米印があるとバランスが悪くなる可能性があるので、見せ方は事務局に調整していただきたい。
副委員長	色の使い方や用語の定義を含め、行政が策定する計画であれば、最終的にはすべての人に見やすい形で対応されるであろうことを期待している。
●ロードマップに関して	
委員長	ロードマップの記載に関して意見はあるか。
副委員長	感想にはなるのだが、例えば基本施策3の「観光の入口となる拠点の形成」等、新しい年度からすぐに計画を実施するのであれば、市を含めて全員が本気になって拠点の改良に取り組んでいく姿勢が必要であると感じている。
委員長	補足だが、ここでいう実施とは、協議や調整も含めたものとして表現している。
●KGIに関して	
委員長	KGIの設定に関して事務局は悩まれることが多かったと思うがいかがか。
事務局	現状値とした令和4年度に関しては、コロナ禍においては悪くはない数字ということもあり、目標値を算定するのに迷いがあったが、20%増加という目標を立てた。
委員長	決して易しい目標ではないが、数値の算定としては適切だと感じる。一同異論がないと理解した。
④ 第2次江別市観光振興計画素案 第6章について	

事務局	<事務局より第6章について説明>
●各主体の役割	
委員長	第6章の内容に関して意見・感想等はあるか
畠山委員	各主体の役割に市民という項目があり、市民も観光振興に関わっているという気持ちにさせてくれる点が良いと感じた。
⑤ その他	
●パブリックコメント時の素案に関して	
委員長	12月にパブリックコメントにかける案は、レイアウトや写真の選択等ほぼ最終化したものという認識でよいか。
事務局	ご認識の通りだが、レイアウトは多少の拡大・縮小等の可能性はある。
●素案修正のやり取りに関して	
事務局	今回の委員会で素案を修正する必要が出たと思うが、素案の修正のやり取りは事務局と委員長の一任でよいのか、若しくは委員会の全員確認を取る形のどちらが良いか。
委員長	パブリックコメントの前に最終化したものをメールで委員全員に送付し、修正の必要有無を確認したいと思う。
事務局	修正案を1週間後に送付したいが、その後に委員から速やかに意見を頂戴する形になる。
委員長	修正の必要性や内容について委員への確認が間に合わない場合は、事務局と私の一任で確定させていただくことをご了承願いたい。
委員一同	承知した。
委員長	(閉会の言葉) 以上で、本日皆様にお諮りするすべての事項の協議は終了し、これをもって第3回第2次江別市観光振興計画策定委員会を閉会とする。